

令和2年4月 28 日

学生・保護者のみなさま へ

大垣女子短期大学 学長 曽根孝仁

令和2(2020)年度 前期授業の実施につきまして

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)により、みなさまには本学教育活動につきましてたいへんご不便、ご心配をおかけしておりますことをお詫び申し上げます。現状を踏まえ、本学における令和2(2020)年度 前期授業につきまして、下記のとおり実施することいたしましたので、お知らせいたします。引き続きご不便やご心配をおかけいたしますが、教育目標の達成に向けて、すべての教職員が全力で取り組んでまいりますので、なにとぞ、よろしくお願ひいたします。

記

1. 授業期間（定期試験期間を含む）

臨時休業中の特例的遠隔授業期間を含み、原則として、5月11日(月)から8月28日(金)までとします。

ただし、5月11日(月)～15日(金)の間の授業では、ガイダンスとして、学修のための準備を行います。

また、学修内容や状況などに応じて、実習や実技等の一部授業科目では、この期間外にも行う場合があります。

2. 授業回数

原則として、科目的授業は、15回(コマ)分を行います（当初から別の回数を予定していた科目を除きます）。

ただし、各学科で取り組んできた在宅での教材を活用した学修活動を一部授業の回数に入れる場合もあります。

3. 授業方法

原則として、すべての授業を在宅での「遠隔授業」で行います。ただし、状況が変化した場合、見直すこともあります。

また、演習・実習・実技の一部授業科目では、状況と条件に配慮しながら、学内での授業を行う場合もあります。

4. 遠隔授業の具体的な方法

次の方法を組み合わせ、パーソナル・コンピュータ(以下、「PC」といいます。)や携帯電話なども活用して行います。

(1)リアルタイム型授業(きまった時刻にPCや携帯電話で画像・音声を受信し、質疑応答・意見交換なども行う。)

(2)オンデマンド型授業(PCとポータルまたは郵送で入手した教材・課題・プリント・動画を使い、メールも活用。)

(3)印刷教材等による授業(教科書やポータルや郵送による印刷教材などを使い、質疑応答などにメールも活用。)

授業は、担当教員の指示や指導のもとに、(1)～(3)を組み合わせ、メールでの質疑応答も行いながら実施します。

5. 出席と評価

遠隔授業への出席(学修参加)確認と成績評価の方法は、授業ごとに担当教員が適切なやり方を定めます。

ただし、授業では(特に上記3の学内での場合)、「出席停止」の措置もありますので、無理をしないでください。

これについてくわしくは、令和2年4月14日付『新型コロナウイルス感染症への対応について』を読んでください。

6. 学生のみなさんへの連絡

第1週の授業へのアクセス方法は、5月11日(月)までに、次の事項は、5月15日(金)までに、本学のホームページや学内ポータルで（必要に応じて郵送で）お知らせします。(1)変更された学年暦やシラバスの内容、(2)時間割、(3)受講科目の授業のスケジュール、遠隔授業で用いるシステムやアプリ・出席確認方法など、(4)受講科目の方法と具体的なアクセスのやり方（学内ポータルからPCへの課題や資料の入手のしかた、PCや携帯電話からのリアルタイム型授業への接続方法など）、(5)4月に取り組んできた学修課題などの提出や取り扱い

その後も定期的にホームページや学内ポータル(必要に応じ郵送)で学修に必要な情報を連絡することとしています。

7. 教科書の取り扱い

前期の授業で必要な教科書については、本学から郵送することとしています。

ただし、教科書代金については、郵送時に同封する振込用紙を使って、定められた期日まで振り込んでください。

8. 通信環境等についてのお願い

遠隔授業の方法や手立てによっては、学修活動や質疑応答、レポート等の提出にPCまたは携帯電話、Wi-Fi 環境、プリンタ等を用いるものもありますので、できるだけご協力をお願いいたします。なお、そうした環境等がない場合の対応につきましても配慮するようにしておりますので、ご不明なことは、遠慮なくお問い合わせください。

9. その他

ご不明の内容等がありましたら、本学事務局 教務・広報課(メール: kyoumukouhou@ogaki-tandai.ac.jp、電話: 0584-81-6817)、もしくはそれぞれの所属学科アカデミック・アドバイザーにお問い合わせください。

新型コロナウイルス感染症の感染防止に努めつつ、最大限の学修成果をあげていただきますよう祈念しております。

以上